

夢のつばさプロジェクト
2023春の交流会 学生報告書

【実施日】2023年3月25日(土)

【開催地】宮城県仙台市:仙台市民会館

【参加者】子供:7名(中学生4名、高校生3名)

学生スタッフ・OB/OG(社会人含む):8名、社会人スタッフ:2名

◎2023春の交流会について

夢のつばさプロジェクトの春の交流会は今回で8回目の開催となりました。対面での企画開催は3年ぶり、子供たちもスタッフも久しぶりに対面で顔を合わせることを心待ちにしておりました。

そこで今回の春の交流会は、初めて交流会に参加するスタッフと子供たちが仲良くなること、久しぶりに対面で会うスタッフと子供たちがたくさんお話をすることを狙いとして企画いたしました。

今回は仙台市民会館を会場とし、最初に全員の自己紹介と近況報告をした後全員で3種類のレクリエーションを楽しみました。

以下に詳細をご報告いたします。

◎タイムスケジュール・詳細

時間	子供たちの動き
12:40	子供たち仙台駅集合
13:20	仙台市民会館到着
14:00	開会式
14:20	レクリエーション「パートナーを探せ」 …①
14:35	レクリエーション「ペーパータワーチャレンジ」 …②
14:45	休憩
15:00	レクリエーション「すごろくトーク」 …③
15:45	閉会式・記念撮影
16:05	仙台市民会館出発
16:15	仙台駅到着
16:25	解散

①レクリエーション「パートナーを探せ」

まず初めに「パートナーを探せ」というレクリエーションを行いました。一人一人の背中に単語が書かれた紙を貼り、周りの人と話してヒントをもらいながら自分の背中の単語を予想します。そして「オレンジ」と「みかん」、「海」と「山」、「仙台」と「東京」など、自分の背中の単語とペアになる単語が貼られているパートナーを見つけるというゲームです。直接的な言葉を使わずに何とか背中の単語を本人に教えようと試行錯誤しながら楽しくコミュニケーションをとっていました。みんなで協力し、5分ほどでそれぞれ二人組を作ることができました。



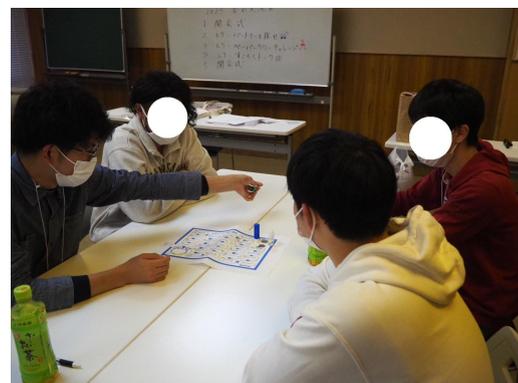
②レクリエーション「ペーパータワーチャレンジ」

一つ目のレクリエーションでできたペアを二つずつ組み合わせさせて四人組を作り、「ペーパータワーチャレンジ」というレクリエーションを行いました。30枚のコピー用紙を使い制限時間内にどれだけ高いタワーを作ることができるか競うゲームです。それぞれのチームでどのようなタワーにするか意見を出し合い、役割分担をしてタワー作りに取り組んでいました。どのチームもよくコミュニケーションをとって抜群のチームワークと集中力でした。ゲームが終了した後も、より高いタワーを作るにはどうしたらいいか探求を続けていたチームもありました。



③レクリエーション「すごろくトーク」

最後に男女別で4人ずつのグループを作り「すごろくトーク」をしました。すごろくのマス目に様々なトピックが書かれてあり、サイコロを振って止まったマス目に書かれたトピックについて自由に話をするレクリエーションです。すごろくのマス目には「譲れないマイルールは?」「行ってみたい国はどこ?」などバラエティに富んだトピックが書かれており、初めてのスタッフも顔見知りの子供たち同士も打ち解けあい時間を忘れて盛り上がっていました。



◎春の交流会を終えて

前述のように、今回は3年ぶりの対面企画でした。夢のつばさプロジェクトでは、コロナ禍で対面企画を行うことができない中でもオンラインでの企画や交換日記など、子供たちとのつながりを大切にしていきました。しかし、オンライン企画の中で子供たちとお話した際に、「久しぶりにみんなに会いたい」という声が多くありました。そんな中でようやく実現した対面での春の交流会は子供たちにとってもスタッフにとっても感慨深いものでした。

楽しそうに近況報告をしたり、和気あいあいとレクリエーションをする姿から、子供たちが夢のつばさを1つの居場所として捉え、安心して楽しんでいることがうかがえました。今後も子供たちや保護者の皆様の声を大切にしながら、対面企画を中心に様々な企画を用意してまいります。

最後に、保護者の方々や社会人スタッフの皆様をはじめ、夢のつばさの活動を温かく見守り支援してくださっている皆様に改めて感謝申し上げます。今後とも何卒よろしくお願いたします。

夢のつばさプロジェクト学生代表 東北大学2年 菅 真紗希